THE ISHIKAWA PREFECTURAL PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

公益社団法人
石川県理学療法士会
ニュース
No.139

2019年6月1日

編集人　野　口　雅　弘
発行所　公益社団法人
石川県理学療法士会事務局
金沢市戸水1丁目25
☎(076)254－1431
発行人　神　戸　晃　男
URL　http://www.ishikawa-pt.com/

開催内容：第28回石川県理学療法学術大会
会場：国際医療福祉専門学校　七尾校

士会ニュースの項目

巻頭言：「健康相談事業部の活動を通して」
社会局　健康相談事業部部長　金沢西病院　今井　正 …… 2
会長メッセージ：「新たなる年、令和元年からの出発」　会長　神戸　晃男 …… 3
会長行動記録 …… 4
2019・2020年度　理事・監事紹介 …… 5
2019年度各表彰者と受賞者 …… 6
議事録 …… 7
県士会だより …… 9
特派員がゆく …… 18
Active …… 19
賛助会員名簿 …… 22
編集後記 …… 24

巻頭言

「健康相談事業部の活動を通して」

社会局　健康相談事業部部長　金沢西病院　**今井　正**

「平成」から「令和」へと新しい時代を迎え、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

社会局健康相談事業部では、県内で開催されております「福祉のつどい」、「健康づくりフェア」、「はだしの王国」などの他団体との共催事業を中心に取り組み、県民福祉への貢献、健康増進とリハビリテーションの啓発、理学療法の広報を目的に活動してきました。各事業では県士会ブースを設けて、身体計測や運動機能検査の実施、リハビリテーションや理学療法に関する相談、健康講座などを行い、県民の方々に自身の健康状態に関心を持って頂き、健康づくりの実践を促進するとともに理学療法について広く知って頂けるよう活動を行っています。各事業では毎回多くの方々に来場して頂いており、事業によって人数は異なりますが、昨年度は１日の事業あたり平均112名の方に来場して頂きました。測定結果を伝える際は、大変興味深く聞いて頂き、よく質問もして下さいました。中には具体的にどうしたらよいのか、どういったところへ相談したらよいのか聞かれる方もいらっしゃいます。活動を通して身体的な問題や不安を抱えている方々、健康に関して興味を持っている方々が多く存在し、我々理学療法士が社会で活躍できる場があることを実感する一方で、理学療法士の認知度や貢献度はまだまだ低いように感じます。

少子高齢化による人口動態の変化、地域包括ケアシステムの構築、理学療法士の数の変化など我々を取り巻く環境は大きく変化し、対象は障害のある方だけでなく、子どもから高齢者まで全世代となっており、働く場所や働き方も多様になっています。そのなかで「社会で何が求められるか」を意識し、我々は「どのような価値を提供できるのか」という観点から考える必要があると思います。当事業部が参加させて頂いている事業は他団体との共催のため、我々だけでなく他団体の様々なブースが設けられ、それぞれ各事業の目的に沿った内容での活動を行っています。そのため他の活動と差別化を図り、県士会の活動としてどんな内容がよいのか試行錯誤しながら進めて参りました。これからも創造的に社会に提供できる価値を考え、実施することで新しい時代が良い時代となるよう当事業部での活動を通して微力ながら貢献できるよう努めていきたいと思います。

最後に、入職して１年目で当事業部に関わり、3年目で部長となってから新年度で６年が経ちました。当事業部は部員が若く、私自身を含めまだまだ未熟な組織です。一人の会員として、そして組織としても成長できるよう、会員の皆様につきましては何卒、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会長メッセージ

「新たなる年、令和元年からの出発」

（公社）石川県理学療法士会
会 長　**神戸　晃男**

（公社）石川県理学療法士会は5月19日の総会を以って2年の任期を終え、新たな役員、部員によって運営が開始されました。平成の30年間に終止符が打たれ、新たに令和の時代となったのと同時に、（公社）石川県理学療法士会も新時代に突入しました。

思えば、日本に理学療法士が誕生して50年以上の年月が過ぎ、4年前の平成27年6月6日、日本理学療法士協会50周年の式典と祝賀会が東京で開催されました。

一方、石川県理学療法士会は1970年に設立され、今年で創立50周年を迎えます。10月12日（土）には記念式典、祝賀会が金沢で開催される予定です。当日は、御来賓をお迎えし、会員皆でお祝いしたいと思います。そして、当会の昭和、平成の時代における50年の足跡を記念誌に残し、令和元年において新たな活動を開始致します。是非、多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

さて、今年の重点課題は臨床実習指導者講習会を開催し、指導者の確保と質の向上を目指します。臨床実習指導者は、厚生労働省指定の講習会に連続して2日間受講することが必須条件となります。経験4年以上の方は、講習会参加要件に該当しますので必ず全員受講されますようお願い致します。学生は、卒後、当会の会員になります。今後とも卒前・卒後教育により一層ご尽力いただきますようお願い致します。

次に、2020年オリンピック、パラリンピックを控え、その準備活動にさらに邁進していきます。現在、準備のための研修会が開催されています。このチャンスを逃すことなく、是非多くの方のご協力をお願い致します。

そして、地域包括ケア、災害対策、健康寿命の延伸、転倒予防、腰痛予防、PT週間などに関する研修会の継続開催、参加への誘導については他団体と協力して進めて参ります。JRAT石川が設立され、災害対策の研修会のご参加もよろしくお願い致します。

次に、生涯学習が新たに大きく変わろうとしています。登録理学療法士制度を導入し、生涯にわたり質の向上に努めることが狙いですが、日本理学療法士協会は2年後、新制度を導入する方向で準備を進めています。理学療法のプロとして、新人教育プログラムを終了し、新たな制度の下に学術活動（発表、投稿論文、認定・専門取得、参加）などを通して、患者さんや県民の期待に応えるためにお互い自己研鑽に努めて参りましょう。学術活動は急性期、回復期、そして適応期において理学療法に関するエビデンスの構築が求められています。特に、在宅リハビリテーションが拡大している現在において、在宅での理学療法の効果、エビデンスの構築が重要視されています。石川県理学療法学雑誌は2001年から発刊され、2018年までに116編の学術論文が掲載されました。学会発表をした内容を是非、今後も積極的に論文投稿して業績を残していただければと思います。

最後に、令和元年というこの記念すべき年において、今後ともより一層の多くの会員の皆様の県士会活動への参加をお願い致します。さらに充実した公益事業を展開し、県民の期待が倍増する飛躍の年にしていきましょう。

会長行動記録（2019年１月27日～４月15日）

１月27日　研修会出席・挨拶（羽咋）
１月28日　障害認定審査会出席（かほく）
２月２日　（公社）石川県理学療法士会　新年会出席・挨拶（金沢）
２月３日　ＪＲＴＡ石川設立研修会出席・挨拶（金沢）
２月５日　第３回石川県理学療法士会創立50周年記念事業会運営出席（金沢）
２月７日　石川県理学療法士会創立50周年記念誌編集委員会出席（金沢）
２月21日　（公社）石川県理学療法士会　定例理事会出席（金沢）
２月22日　連盟研修会、田中まさし先生懇親会出席（東京）
２月23日　全国都道府県士会長会議出席（東京）
２月28日　県医師会、県庁、金沢市役所　50周年式典　表敬訪問（金沢）
３月２日　国際医療法福祉専門学校　七尾校　卒業式出席（七尾）
３月９日　金沢リハビリテーションアカデミー　卒業式出席（金沢）
３月11日　金沢市会議出席（金沢）
３月13日　地域リハビリテーション協議会出席（金沢）
３月14日　（公社）石川県理学療法士会　定例理事会出席（金沢）
３月18日　金城大学　卒業式出席（金沢）
３月25日　障害認定審査会出席（かほく）
３月28日　（公社）石川県理学療法士会　役員研修会出席（金沢）
４月１日　金城大学　入学式出席（金沢）
４月３日　石川県理学療法士会創立50周年記念誌編集委員会出席（金沢）
４月４日　金沢リハビリテーションアカデミー　入学式出席（金沢）
４月８日　第４回石川県理学療法士会創立50周年記念事業会運営出席（金沢）

厚生省、身体障害者福祉法、労働省指定
㈳日本義肢協会会員　登録・中部115号
K.GISHI
㈱金沢義肢製作所
〒920-0935
金沢市石引１丁目11の６
TEL(076)231-3328
FAX(076)262-0930

SAISEIKAN Co.LTD.,
Prosthetist & Orthotist
(株) 済世館
会　社　金沢市三口新町2-2-25
TEL 076 (231)7284
FAX 076 (231)6708

2019・2020年度　理事・監事紹介

役職：会長

氏名：神戸　晃男

所属：金沢医科大学病院

役職：副会長

氏名：北谷　正浩

所属：公立羽咋病院

役職：副会長・職能局　局長

氏名：諏訪　勝志

所属：恵寿総合病院

役職：職能局　担当理事

氏名：丸居　夕利佳

所属：金沢西病院

役職：職能局　担当理事

氏名：霜下　和也

所属：芦城クリニック

役職：職能局　担当理事

氏名：木村　創史

所属：城北病院

役職：社会局　局長

氏名：廣瀬　辰巳

所属：城北病院

役職：社会局　担当理事

氏名：向田　裕明

所属：金沢脳神経外科病院

役職：社会局　担当理事

氏名：吉本　真樹

所属：石川県立中央病院

役職：学術局　局長

氏名：山川　友和

所属：済生会金沢病院

役職：学術局　担当理事

氏名：矢野　昌充

所属：専門学校金沢リハビリテーションアカデミー

役職：学術局　担当理事

氏名：松﨑　太郎

所属：金沢大学医薬保健研究域

役職：事務局　局長

氏名：小堺　武士

所属：北陸病院

役職：事務局　担当理事

氏名：浅川　佳祐

所属：リハビリ&フィットネス 寿リハ新神田

役職：事務局　担当理事

氏名：野口　雅弘

所属：金城大学

役職：監事

氏名：長田　勉

所属：公立松任石川中央病院

役職：監事

氏名：淺井　仁

所属：金沢大学医薬保健研究域

2019年度各表彰者と受賞者（五十音順、敬称略）

表彰名	受賞者名	所属
石川県知事表彰	井舟正秀	恵寿総合病院
	後藤伸介	やわたメディカルセンター
	薮越公司	金沢医科大学病院
石川県理学療法功労賞	諏訪勝志	在宅複合施設ほのぼの
	長田　勉	公立松任石川中央病院
	村田雅人	村田リハビリ研究所
	三ツ田佳代	リハビリマネジメントオフィスみんなと
	山崎裕之	輪島市立輪島病院
石川県理学療法士会長賞	桐崎弘樹	国立病院機構医王病院
	田中正二	金沢大学医薬保健研究域保健学系
	寺尾研二	金城大学
永年会員表彰	石川真依子	木島病院
	小竹美沙紀	金沢赤十字病院
	茅野慎一	みんなで笑顔木のおうち訪問看護リハビリテーション
	茂岩路恵	加賀市医療センター
	多川正人	新村病院
	田福絵美	加賀温泉リハビリクリニック
	廣田智也	国立病院機構医王病院
	松田　崇	国立病院機構七尾病院

石川県理学療法学術大会奨励賞

氏　名：松村　知美
所　属：藤井脳神経外科病院
演題名：パーキンソン症候群のすくみ足に対するQピット使用の有効性

理事会議事録

平成30年度 第6回 公益社団法人石川県理学療法士会
理事会議事録

1．開催日時　平成 31 年 2 月 21 日（木）
　　19：00 ～ 21：30
2．開催場所　士会事務所
3．出 席 者
　理事　神戸晃男、加藤謙一、北谷正浩、廣瀬辰巳、吉本真樹、山川友和、松﨑太郎、池田法子、有川康二郎、野口雅弘、小堺武士、諏訪勝志
　　（11 名／ 15 名）
　監事　淺井　仁、長田　勉
　表彰委員会　佐々木弘之
　書記　村田雅人
4．欠席者
　理事　矢野昌充、向田裕明、笹島亜希子
　監事
5．議長の選任
　理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に神戸晃男を互選にて選出した。
6．議事録署名人の選任
　定款第 31 条の規定により、次の者が選出された。
　議長　神戸　晃男
　理事　北谷　正浩、加藤　謙一
　監事　淺井　仁、　長田　勉
7．議案及び議事の顛末
第１号議案　平成 31 年度表彰候補について
　平成 31 年度表彰者候補について、表彰委員会佐々木氏より説明があった。

　審議の結果、承認した。
第２号議案　平成 31 年度　予算案について
　池田理事より、平成３１年度予算案について、説明があった。

　淺井監事より、年末に年度途中監査を行ったことについて、説明があった。

　審議の結果、継続審議とした。
第３号議案　政策研修部の新設について
　小堺理事より、政策研修部の新設について提案があった。
　事務局内に政策研修部として、設置をする。

　審議の結果、承認した。
第４号議案　会員の異動について
　入会 2 名、復会 0 名、県内異動 22 名、県外異動 5 名、改姓 3 名、休会 14 名、退会 8 名住所変更 22 名、会員権利停止 0 名、会員権利停止解除 0 名、新規施設 0 箇所、名称変更 1 箇所
　（2 月 18 日現在　正会員 1131 名、休会 83 名、名誉会員 2 名、賛助会員 41 社）

　審議の結果、承認した。
8．報告事項
　1）事務局報告
　事務局より以下の報告がされた。

文書受理発送	受理文書	公文書	11 件
		その他	15 件
	発行文書	公文書	17 件
		その他	8 件

　2）次回理事会の開催予定について
　理事会
　日　時：平成 31 年 3 月 14 日（木）
　　19：00 ～ 21：00
　場　所：県士会事務局

平成30年度 第７回 公益社団法人石川県理学療法士会
理事会議事録

１．開催日時　平成 31 年 3 月 14 日（木）
　　19：00 ～ 21：30
２．開催場所　士会事務所
３．出 席 者
　理事　神戸晃男、加藤謙一、北谷正浩、廣瀬辰巳、吉本真樹、山川友和、野口雅弘、諏訪勝志、向田裕明、小堺武士、矢野昌充、有川康二郎、池田法子　（13 名／ 15 名）
　監事　淺井　仁、長田　勉
　表彰委員会　佐々木弘之
　書記　村田雅人
４．欠席者
　理事　松﨑太郎、笹島亜希子
　監事
５．議長の選任
　理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に神戸晃男を互選にて選出した。
６．議事録署名人の選任
　定款第 31 条の規定により、次の者が選出された。
　議長　神戸　晃男
　理事　北谷　正浩、加藤　謙一
　監事　淺井　仁、　長田　勉
７．議案及び議事の顛末
　第１号議案　50 周年記念式典について
　辻原氏より説明があった。10 月 12 日土曜日、15 時より、ホテル東急金沢にて開催予定である旨報告された。

　審議の結果、承認した。
　第２号議案　社会局体制変更の提案
　廣瀬理事より、委託事業、公益事業、他団体との共催企画等に広く対応できるように、部の名称変更（「健康スポーツ事業部」を「公益事業部」）を行いたいと提案があった。

　審議の結果、継続審議とした。
　第３号議案　会員の異動について
　入会 0 名、復会 0 名、県内異動 1 名、県外異動 2 名、改姓 2 名、休会 5 名、退会 1 名住所変更 4 名、会員権利停止 0 名、会員権利停止解除 0 名、新規施設 0 箇所、名称変更 0 箇所
　（3 月 11 日現在　正会員 1125 名、休会 88 名、名誉会員 2 名、賛助会員 41 社）

　審議の結果、承認した。
　第４号議案　2019 年度　公益社団　石川県理学療法士会　事業計画・予算案について
　神戸会長、池田理事より、2019 年度公益社団石川県理学療法士会の事業計画案・予算案について、説明がなされた。説明があった。

　審議の結果、承認した。
８．報告事項
　１）事務局報告
　事務局より以下の報告がされた。

文書受理発送	受理文書	公文書	4 件
		その他	13 件
	発行文書	公文書	0 件
		その他	8 件

　２）県士会ニュースのホームページ掲載について
　野口理事より、県士会ニュースを県士会ホームページに掲載する事について報告があった。

　３）次回理事会の開催予定について
　理事会
　日　時：平成 31 年 4 月 18 日（木）
　　19：00 ～ 21：00
　場　所：県士会事務局

県士会だより

臨床実習指導者講習会について

臨床実習指導者養成特別委員会
委員長　神戸　晃男

「理学療法士・作業療法士学校養成施設指定規則改正」に伴い、臨床実習指導者は実務経験満５年以上で、厚生労働省の定める講習会（臨床実習指導者講習会）を受講することが義務化されます。新指定規則は2020年度入学生より適応されるため、当面は2021年の上半期までに一定数の臨床実習指導者を養成する必要があります。

講習会開催に際し、石川県から11名がファシリテーターとしての中央講習会を修了し、県内で実施する講習会を担当します。今年度は２回の開催を予定しており、定員や日程・会場が決まり次第ご案内いたします。なお、各施設勤務事情や定員などを考慮し計画的に参加者を募集していく必要がありますので、何卒ご協力のほどお願いいたします。

会員におかれましては、実務経験４年以上の方は講習会受講ができます。臨床実習指導者の資格を取得して、是非とも卒前教育から携わり、教育者としての自己研鑽、卒後教育として後輩の育成にもご尽力いただきますようお願いいたします。

講習会の概要（予定）

項　目	内　　容
講 習 時 間	16時間（原則として連日開催）
受講対象者	実務経験満４年以上の理学療法士･作業療法士（学生指導は実務経験満５年以上）
講習会形式	ワークショップ（参加者主体の体験型研修）形式で実施され、次に掲げる要件を満たすこと。参加者が６名から10名までのグループに分かれて行う討議及び発表を重視した内容であること（以下、略）
テ　ー　マ	①理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要 ②臨床実習の到達目標と修了基準 ③臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案 ※ガイドラインの５⑷に規定する時間数で臨床実習プログラムを立案すること ④臨床実習指導者の在り方 ※臨床実習指導者がハラスメントについて十分な問題意識を持つとともに、ハラスメントを起こさないための「ハラスメントの防止について」含むこと ⑤臨床実習指導者およびプログラムの評価 ⑥その他臨床実習に必要な事項

講習会プログラム（予定）

9：20～9：30　開会　オリエンテーション（講習会の進め方）　受付は9：00～

日程	時間			講義・演習テーマ（講義：420分、演習540分＝計960分）
1日目	1	9:30～10:30	講義	講義1 【理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要】 臨床実習指導者講習会のねらい、ファシリテーターの役割 意義・目的・内容・仕組み
	1	10:30～11:30	講義	講義2 【その他臨床実習に必要な事項】教育原論・人間関係論（60分）
	1.5	11:30～13:00	演習	演習1 【その他臨床実習に必要な事項】人間関係論（90分）
		13:00～13:50	休憩	
	1	13:50～14:50	講義	講義3 【臨床実習指導者のあり方】ハラスメント防止意識の向上（60分）
	1.5	14:50～16:20	演習	演習2 【臨床実習指導者のあり方】ハラスメント防止意識の向上（90分）
		16:20～16:30	休憩	
	1	16:30～17:30	講義	講義4 【臨床実習の到達目標と修了基準】臨床実習の手引き、水準と到達目標（60分）
	1.5	17:30～19:00	演習	演習3 【臨床実習の到達目標と修了基準】臨床実習の到達目標（90分）
2日目	1.5	9:00～10:30	講義	講義5 【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 診療参加型臨床実習方法論：見学・模倣・実施のプロセスならびに指導ポイント（90分）
	1.5	10:30～12:00	演習	演習4 【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 基本的態度・運動スキル・認知スキルの指導ステップ（90分）
		12:00～12:50	休憩	
	1.5	12:50～14:20	講義	講義6 【その他臨床実習に必要な事項】 診療参加型臨床実習における学生評価（90分）
	1.5	14:20～15:50	演習	演習5 【その他臨床実習に必要な事項】 診療参加型臨床実習における学生評価（90分）
		15:50～16:00	休憩	
	1.5	16:00～17:30	演習	演習6 【臨床実習指導者およびプログラムの評価】診療参加型臨床実習の実践（90分）

日程（申請中）

第1回　2019年9月28日（土）・29日（日）

場所：専門学校金沢リハビリテーションアカデミー（予定）

第2回　2019年11月30日（土）・12月1日（日）

場所：金城大学（予定）

※日程は厚生労働省に申請後に確定しますので、変更になる可能性があります。

～職能局調査部からのお知らせ～
2019年度調査項目公募について

調査部では、今年度に引き続き来年度も調査項目を公募致します。詳細は以下のとおりです。

●公募する調査項目

県士会活動、士会員の臨床活動、臨床教育に関するもの

●応募方法

電子メールにて、応募者名、調査項目、調査方法（ご提案）、調査協力者等の必要事項をお知らせください。

●提出期限

随時募集。毎年7月末日までに応募のあった項目については、当該年度内に実施される調査項目として検討し、8月以降に応募のあった項目については、翌年度以降の調査項目として検討します。

●提出先：　金沢こども医療福祉センター　藤澤

E-mail：　isg-reha@seishi.isg.or.jp　（件名に『藤澤宛　調査項目の件』とご記入下さい）

（公社）石川県理学療法士会　創立50周年記念式典及び祝賀会のご案内

（公社）石川県理学療法士会 会長　神戸　晃男
50 周年記念事業推進委員会委員長　辻原 美智雄

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

（公社）石川県理学療法士会は、1970 年に有志により創設され、今年で創立 50 周年を迎えることとなりました。50 周年という長きにわたり、石川県内での理学療法士の普及向上、県民の健康増進のための支援活動など多岐にわたる活動をしてまいりました。こうした活動を積極的に主導し、導いた多くの先人たちのたゆまぬ努力が継続し、今日に至ったと思います。

このたびこの創立 50 周年を多くの来賓の方々を交え、会員皆様で祝うための式典及び祝賀会を計画しております。ぜひ、多くの会員の皆様にご参加いただき、盛大な式典・祝賀会を催したいと思います。

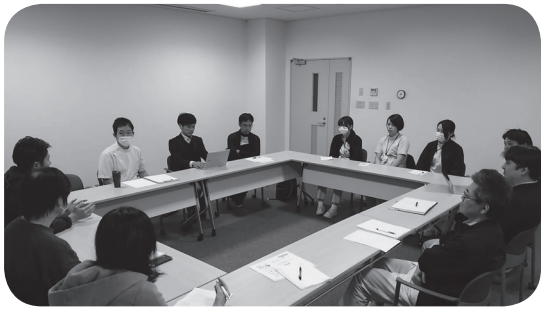
式典・祝賀会の詳細については、今後の県士会ニュースやメールマガジンなどでお知らせしていく予定です。ぜひ多くの会員のご参加をお願いいたします。

（公社）石川県理学療法士会　創立 50 周年記念式典及び祝賀会
日時：令和元年 10 月 12 日（土）　15：30 ～〔受付 15：00 ～〕
場所：金沢ホテル東急（〒 920－0961 石川県金沢市香林坊 2－1－1）
内容：（1）記念式典 15：30 ～
（2）祝賀会　17：00 ～

～職能局地域包括ケア推進事業部からのお知らせ～

地域包括ケアシステム推進へ向けた職能局野々市市担当部員の紹介と第 1 回野々市市 PT ネットワーク会議開催のご報告

職能局　地域包括ケア推進事業部　前田 朋彦



私は、平成 30 年度より職能局地域包括ケア推進事業部で野々市市を担当しています、前田朋彦と申します。部員は地域包括ケア構築の支援をすることを目的としてそれぞれの市町を担当しています。昨年度には、地域理学療法ネットワーク事業にて、野々市市健康福祉部介護長寿課地域包括ケア推進係の寺尾朋美氏を講師にお招きし、総合事業の現状と私たち理学療法士（PT）ができることについて学びました。地域リハビリテーション活動支援事業においては、まだ事業に参加したことのない会員向けに見学会を実施し多くの方に参加していただきました。今年度は PT 間のネットワーク構築を目的として 4 月 10 日に第 1 回目のネットワーク会議を開催しました。職域の異なる施設から参加があり野々市市からの委託事業に対して関わっている PT が少ないことや個々で依頼に対応していることがわかりました。野々市市でのネットワーク作りに向けた活動は始まったばかりです。今後、定期開催しさらに輪を拡げていけたらと考えています。ネットワークを構築し野々市市をよりよくするために協力し頑張っていきたいと考えています。また、PT 間のネットワークだけでなく、今後は多職種と協力していきたいと考えていますのでよろしくお願いします。最後に、野々市市で在勤、在住の方や興味がある方など、ネットワークに参加していただける方がいましたら、下記連絡先へご連絡いただけると幸いです。

【問い合わせ先・連絡先】
職能局地域包括ケア推進事業部　野々市市担当　前田 朋彦（金沢脳神経外科病院）
TEL/FAX：076－246－7808
E-mail：nono1pt.chiikihoukatu@gmail.com

～学術局生涯学習推進部からのお知らせ～

2019年度新人教育プログラム日程

学術局　生涯学習推進部　山川　友和

	時間	講義名（加賀地区）	講義名（能登地区）	場所
5/19		A-2 協会組織と生涯学習システム		ホテル金沢
6/30	10:00 - 11:00	A-5 理学療法における関連法規	A-1 理学療法と倫理	加賀地区（予定） （石川県リハセンター　又は 石川県地場産業振興センター） 能登地区 （国際医療福祉専門学校七尾校）
	11:10 - 12:10	A-4 人間関係及び接遇	A-3 リスクマネジメント	
	13:00 - 14:00	B-1 一次救命処置と基本処置	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	
	14:10 - 15:10	B-2 クリニカルリーズニング	D-3 理学療法の研究方法論	
	15:20 - 16:20	B-4 症例報告/発表の仕方＊	E-1 臨床実習指導方法論	
9/29 （予定）	10:00 - 11:00	A-1 理学療法と倫理	A-5 理学療法における関連法規	加賀地区（予定） （石川県リハセンター　又は 石川県地場産業振興センター） 能登地区 （国際医療福祉専門学校七尾校）
	11:10 - 12:10	A-3 リスクマネジメント	A-4 人間関係及び接遇	
	13:00 - 14:00	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	B-1 一次救命処置と基本処置	
	14:10 - 15:10	D-3 理学療法の研究方法論	B-2 クリニカルリーズニング	
	15:20 - 16:20	E-1 臨床実習指導方法論	B-4 症例報告/発表の仕方＊	
1月 下旬 又は 2月 上旬	10:00 - 12:00	研修（会場未定）		未定
	13:00 - 15:00	C-6 症例発表 C-7 士会活動・社会貢献		
3月 予定		県学会（C-6 症例発表） C-7 士会活動・社会貢献（石川県理学療法学術大会参加）		未定

【注意点】

・単位は全て１単位となります。

・各講義の時間が都合により変更することがありますが、ご了承ください。
　正確な時間割は直前のメルマガでお知らせ致します。

・他に県士会主催の学術研修会、学術大会、協会主催の講習会（基礎編）でＣ領域の単位修得できます。
　必要単位ですので、学術研修会等にふるってご参加ください。

・＊B-4「症例報告 / 発表の仕方」は、学士及び高度専門士取得者は免除対象の講義となります。

・新人教育プログラムについて詳細及びご不明な点につきましては、以下までご連絡ください。

石川県理学療法士会　学術局生涯推進部　山川　友和（石川県済生会金沢病院リハビリテーション部）
Tel: 076－266－1060　E-mail: gakujutu@ishikawa-pt.com

～職能局地域包括ケア推進事業部からのお知らせ～

◇志賀町シルバーリハビリサポーター3級養成講座の報告◇

シルバーリハビリ体操指導士養成講習会講師
北谷　正浩、諏訪　勝志、板橋　悠一郎、丸居　夕利佳

今年度より、石川県理学療法士会では、住民主体型介護予防事業の推進を図るため、日本理学療法士協会が支援している「シルバーリハビリ体操指導士」3級養成講座を開催致しました。石川県内初の取り組みの舞台となったのは、高齢化率が40％を超えている石川県羽咋郡志賀町。予想をはるかに超える53名の町民からの参加申し込みがあり、介護予防への関心の高さが伺えました。今回は、志賀町シルバーリハビリサポーター3級養成講座の報告を致しますので、ご覧ください。

＜志賀町シルバーリハビリサポーター3級養成講座の概要＞

開催日程：平成31年3月14日（木）～平成31年4月21日（日）までの計8回
場　　所：志賀町総合体育館
講　　師：北谷　正浩、諏訪　勝志、板橋　悠一郎、丸居　夕利佳
（シルバーリハビリ体操指導士養成講習会講師）
石田　修也（日本理学療法士協会　介護予防事業統括マネージャー）

全講座出席者をシルバーリハビリサポーター3級指導士と認定し、条件を満たせなかった受講者は志賀町が「介護予防サポーター」として認定し、3年以内に条件を満たせばその都度3級指導士として認定していきます。

＜シルバーリハビリ体操とは＞

シルバーリハビリ体操は、ボールや鉄アレイなどの道具を使わず、どのような姿勢でも、いつでも、どこでも、ひとりでもできます。シルバーリハビリという言葉には「最期まで身体として人間らしくある」という願いが込められています。

志賀町健康福祉課　山口課長からのご挨拶

神戸会長からのご挨拶

＜講習会の様子＞

【講義の様子①】

「超高齢社会の介護予防とシルバーリハビリ体操」をテーマに、超高齢社会における介護予防の現状とシルバーリハビリ体操指導士養成事業について石田氏からお話いただきました。“世のため、人のため、自分のため”の気持ちで体操指導だけでなく、地域づくりの担い手になってほしいと熱く語っていただきました。

【講義の様子②】

身体の名称や仕組みなどをお伝えします。①体の部位、関節の名称、②関節の運動、③筋肉、④骨、⑤神経、⑥嚥下の仕組み嚥下体操を講義で学びます。普段聞きなれない名称が飛び交うため、参加者は“何度も声に出して、触って、書いて”覚えていきます。

【体操の様子】

シルバーリハビリ体操は、①寝て、②床、③椅子、④起立とどのような姿勢でもできるように組み立ててあります。体操を指導する際は、何のために、どの筋肉を使って、どの関節を動かしているかポイントを押さえながら説明しました。触らずに動きを理解してもらうために、言葉や見本を見せながらお伝えしました。

【グループワークの様子】

グループワークでは「今後の自分はどうありたいか」、「尊厳を支えるために何が必要か」を考えました。参加者からは、“健康で・元気でありたい”“趣味活動もしていたい”“集いの場が欲しい”などたくさんの意見をいただきました。「自助・互助・共助」の内容を参加者で共有することができました。

～職能局業務推進部からのお知らせ～
◇2018年度　管理者研修会の報告◇

職能局　業務推進部　丸居　夕利佳、西田　好克、橋本　雄二

当部で毎年開催してきた管理者研修会も好評につき７回目を迎えました。2018年度に職能局調査部で実施した労務管理等に関するアンケート調査では、労務管理や報酬、人材育成などに課題を感じている管理者が散見されました。そこで今回の研修会は、社会人であれば知らないでは済まされない「労務管理」を取り上げ、労務管理を専門としている社会保険労務士の満田 美奈子氏から、そして理学療法士を育成するための「根幹である考え方」を日本理学療法士協会副会長の斉藤 秀之氏からそれぞれ伺いました。研修会後も講師に熱心に質問する参加者が多く、関心が高いテーマであったと思います。会場が、国際医療福祉専門学校七尾校と遠方ではありましたが、24名に参加して頂けました。次年度も各施設の管理者やリーダーを支援する研修会を企画運営していきますので、奮ってご参加ください。今回は報告・アンケート結果を掲載致しますので、ご覧ください。

＜報告＞

日　時：2019年３月３月（日）　10：00～13：00

会　場：国際医療福祉専門学校　七尾校　理学療法第１教室

テーマ：いまさら聞けない社会人なら知ってて損はないマネジメントのいろは

～今の時代に求められる理学療法士とは～

講義①　満田　美奈子 氏

「いまさら聞けない社会人としての労務知識」

“働き方改革”関連の内容を中心にお話しいただきました。学生に戻った気分で、労働基準法についてわかりやすく、イチから教えていただきました。

講義②　斉藤　秀之 氏

「再考！今の時代に求められる理学療法士とは」

講師からはこれまでの組織管理者としての経験、現在までの協会としての立場からここでしか聞くことが出来ない話を伺えました。参加者にとっては非常に実践的かつ貴重な情報であったと思います。

グループワーク

各職場の情報交換を中心に、現在の問題点についての相談や具体的対応策の提案など真剣なやり取りが行われました。自分事として参加者による積極的な発言があり、大変な盛り上がりを見せました。

＜アンケート結果＞

○回 収 率　87.5%、回答者　21 名（男：14 名、女：7 名）

○勤 務 先　病院：19 名、入所施設：2 名

○経験年数　1 ～ 9 年目：4 名、10 ～ 14 年目：4 名、15 ～ 19 年目：4 名
20 ～ 24 年目：0 名、25 ～ 29 年目：5 名、30 年以上：4 名

1．研修会の満足度

	講義①「労務知識」	講義②「再考！理学療法士とは」	グループワーク
大変満足	15	15	5
満足	6	6	10
どちらともいえない	0	0	1
不満	0	0	0
大変不満	0	0	0

2．労務管理や理学療法士の未来についての考え

【労務管理】

・労務に関してはグレーな部分もあり、適切に整理する必要があると感じた。
・労務については今まであまり考えていなかったので、これからは必要である。
・ＰＴが必要とされながらＰＴ自身も働きやすい環境を作っていけるように、在り方についてもう一度見直していく必要がある。
・管理者が経営者と話し合える関係性がないと働き方改革は難しいと考える。
・時間外労働の整理についてはとても悩ましい。
・時間外労働について病院・訪問規定を作る！
・残業の考え方も含め、働き方を前向きに検討していく必要があると思った。
・勉強会などの取り扱いと１日の業務内容との関連がどうして行けばよいのか？難しい課題。
・時間内に教育、活動を納めること。→給与の時給は下がると思うので、その理解を進めること。
・「単位」だけではなく、書類作成時間など配慮した時間管理を行えたら良いと思う。
・時間管理と業務、研修などの整合性を図る必要性を強く感じた。
・内部告発されないように、単位数や経営的なシステムを構築する必要あり。
・法律順守の上でどう質と効率を教えていけるかが重要と考えた。

【理学療法士の未来】

・ＰＴの専門性と管理者マネジメント力のＵＰが必要である。
・もっと社会的常識を勉強して大人な組織にPT もならなければいけない。
・これまでの在り方を理解しつつ、新法に乗っ取ったシステムや若い人達の考え方を学んでいかなくてはならないと感じた。

・ＰＴの職域をアピールできるかは日々のＰＴ業務をしっかり行っていく。外の世界（病院外）に目を向ける事が大切と思った。
・新人教育に仕事に対して、なぜの疑問を持たせるように指導していきたいと思った。
・介護、傷害分野との研修会なども協力して行っていけたら、先のことを考えると良いと思う。
・少なくとも今まで通りの考え方では厳しい。他職種も含めて仕組みを考えていく必要がある。
・職域を増やすために、市町村、県のつながりを何かしらの形でとっていく。

３．来年度以降の管理者研修で取り上げたいテーマ
・時間外労働と書類業務
・職場運営の工夫
・経営的観点からみてのＲＨ室を管理していくか
・リハビリテーションの質
・ＯＪＴシステム
・パワハラなどのハラスメント法的なもの
・多職種連携のノウハウ

４．その他のご意見、ご感想、ご質問
・私のような年寄りにはこのような労務管理などを研修する機会が少なかったのでこのような機会は非常に有難い。
・労務管理などを研修する機会が少なかったので、このような機会は非常にありがたい。有益な話が出来た。
・学会のプログラムもあったので、時間の調整が必要だった。
・講義後に同一事業内のグループで検討が出来たらよかった。グループワークの時間が不足していた。

特派員がゆく
～ いまの時代に求められる理学療法士 ～

働き方改革が進められる今日、日本理学療法士協会の会報誌「JPTANEWS」においても、次号の特集記事は「仕事・働き方について」です。そして、当士会の職能局では、いち早く会員の労働実態調査を実施し、前回のニュースにて、その調査結果が掲載されました。また、業務推進部では、新しい働き方についてや労務管理などの管理者研修を実施しています。2019年3月に開催された管理者研修会では、「再考！今の時代に求められる理学療法とは」という内容で講義が行われました。そこで、今回、その講師の一人、日本理学療法士協会副会長、斉藤秀之氏に取材を行い、時流を読み変化に対応していく為の次世代の理学療法士についてお話をお伺いしました。

＜斉藤氏による働き方改革についての講義風景＞

― 超高齢社会の中で、理学療法士への期待は高いと思われますが、私達に必要な事とは何でしょうか?

斎藤氏「いま、社会が求めている事の中に、理学療法士がどう貢献できるのか？社会が求めている事にどうやってコミット、参加していくか？という事を考える事が重要だと思う。相手が何を求めているか、何に困っているか、どうやって自分が関われるか、真のニーズは何なのか、という事を考え続ける必要がある。」

― 理学療法士の可能性を高める、社会貢献について、どのように活動を行っていくべきでしょうか?

斎藤氏「市や町から、自分の所属する組織に依頼された事業や活動について言うなら、その事業を実施して、終りではなく、論文にする事が重要だと思う。その活動が雑誌にパブリッシュされる事が大事。そうする事で後日、また違う市町の行政などから、先の事業に関して評判が良いので、うちの市町でも事業としてやりたいって声が掛かるわけ。そうする事で、また、新たに予算がつくわけでしょ。こういう風に、組織の事業においても、次に繋がる、つまりは実利の部分で今後は考えていく必要があると思う。投資を受けたからには、自分たちが考え創り出したものを、論文にして、世に問うて、成果を出す。そのサイクルを作るべきだと思う。研究と実利を考える、社会実践学やよね。」

― 社会に貢献し、理学療法の可能性を高めるには、どのように社会参加を行っていくべきでしょうか?

斎藤氏「論文を書いて、終りではなく、教授になった人が、市町村のいろんな委員会の座長になって、制度の中で動く立場から、制度を作る側にまわらないといけない。保険点数を目的に、ただ仕事をやっているだけではだめ、点数を作る側に回んないと。埋もれちゃうよ。理学療法士の事は理学療法士が語らないと。外に語らないと。名前を売らないと。そういう意味でも、市町村の介護予防事業等にどんどん、個人としてではなく、組織として活動していくことによって、そういう仕事がくるようになるんだよ。それを論文という形にする、市の名前出るよね、喜ぶよね。それができたら、他職種連携の要はPTになるんだよ。」

― 次世代の理学療法士へのメッセージをお願いします。

斎藤氏「太田仁史先生から、教わった言葉でMVP。Mission 使命、Vision 視点、Passion 情熱。団塊の世代って言葉を作った堺屋太一さんが、今の若者は3Yって言って「夢ない、欲ない、やる気ない」って言葉を文章に書いてた。それを覚えていて、だからそう思われない、それは若者が悪いだけじゃなくて、世の中が悪いんだけど、それに対して、太田先生のMVP大事よねって事に共感した。使命も持って、ビジョン持って、情熱を持つ事が大事なんだよ。」

＜取材に応じてくれた斉藤氏＞

― 地元石川県の会員の皆さんにエールをお願いします。

斎藤氏「小さくまとまらず、大きな視点で、考え、動いて下さい。思っている事の半分はできる。今やっている事の2倍は頑張れる。だから、夢は大きく描く。」

取材：石田

Active

第 28 回理学療法学術大会に参加して

みずほ病院　　**穴畑　誠人**

平成 31 年 3 月 3 日に国際医療福祉専門学校で開催された第 28 回理学療法学術大会に参加し、「具体的な目標提示により意欲向上し、自宅退院につながった症例」というタイトルで、フレッシャーズセッションで口頭発表をさせていただきました。

今回の発表は、フレッシャーズセッションということもあり、他の病院や施設でご活躍されている同世代の理学療法士の考え方や発表の仕方に触れるいい機会になりました。また、先輩理学療法士の方々の質問から、自分ではなかなか気がつくことが出来なかったものに気づき、新たな知見を得ることが出来ました。

今回、学会という場で口述発表をさせていただき、普段自分が行なっていること、考えていることをまとめてわかりやすく多くの人に伝えることの難しさを感じました。今後もこのような場で発表させていただき、様々な知見を得ることで、より良い理学療法を患者様に提供できるよう努力していきたいと思います。

平成 30 年度新人教育プログラム　症例発表に参加して

森田病院　　**古伴　陸**

平成 31 年 1 月 27 日に金城大学にて開催されました新人教育プログラムにおける症例発表に参加し、「腸腰筋の短縮により生じた歩行能力低下の改善を目指した症例」という題目で発表させていただきました。

症例発表をさせていただくのは初めてのことであり大変緊張もしましたが、発表症例に対する自分の考え方、自分が取り組んできた治療法について自分なりの言葉、表現で伝えることが出来ました。他院の先生方に自分の考えを伝えると同時に発表内容を実際に文字に起こすことで自分の考えを整理することが出来、準備から発表まで大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回、発表させていただき不十分であった点もありましたが、それに対する質問やご意見を複数いただき自分に足りない点や様々な視点からのアプローチについて勉強させていただきました。

今回の発表を通じて、自分にはない発想や自分と異なった着目点について学ぶことが出来ました。この経験を今後の臨床現場に活かしていけるよう日々努力していきたいと思います。

新人症例発表に参加して

金沢脳神経外科病院　　**北　有里**

平成31年1月27日に行われた新人教育プログラム症例発表に参加させていただき、母校である国際医療福祉専門学校七尾校で発表しました。就職して初めての発表ということもありとても緊張しましたが、専門学生時代の同級生も参加しており、少し落ち着いて発表できたのではないかと思います。

私は普段、脳血管疾患患者さんを担当させていただくことが多いですが、中枢疾患に対する知識も不十分であると感じており、分からないことや悩みが多くあります。ですが、今回の発表を通して、病院外の方からのアドバイスを聞くことができ、様々な視点での考え方などを知ることができました。これからの臨床にも生かしていきたいと思いました。

また、同級生の発表を聞き、それぞれに頑張っている姿をみて自分も頑張らなくてはいけないと、良い刺激をもらうことができました。

今後も、患者さんのためにより良いリハビリテーションを提供できるように頑張っていきたいと思います。

第4回　3士会合同研修会を終えて

特別養護老人ホーム眉丈園　　**池島　大智**

この度、平成31年1月27日に、石川県リハビリテーションセンターの委託事業として、石川県の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3士会合同によるシンポジウムが羽咋市で開催されました。この事業は、リハビリテーション専門職同士や、地域で活躍される多職種の連携を促進するために実施しています。「地域共生社会」をテーマに、リハビリテーション専門職の他に、医師や看護師、地域包括支援センターの羽咋市職員の方にもご講演頂きました。医師からは「多職種での連携の大切さ」「リハビリテーション職に期待すること」を、看護師からは、「その人らしい生活を支えるための重要な視点」という内容の大変貴重なお話を頂きました。私は自立支援型ケア会議の内容と、地域包括ケアシステムが目指すものについて発表させて頂きました。

約90名の方々にご参加頂き、シンポジウム開催目的も少なからず果たせたのでないかと思います。今後も、地域包括ケアシステムが目指す「地域作り」を住民や民生委員、医療、介護、福祉の職員間で理解し、共有していくことや、病院や施設という職域に留まることなく、地域の人々が一体的に前進していく必要があります。それが「地域共生社会」へ向かう道となってくるのではないかと思います。

最後に開催にあたり、企画、準備、運営に携わって頂いた関係者の方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

日本糖尿病理学療法学会第４回症例報告学術集会に参加して

みずほ病院　　**用平　裕汰**

平成31年3月17日に石川県のITビジネスプラザ武蔵で開催された日本糖尿病理学療法学会第4回症例報告学術集会に参加し、「糖尿病性ASOを罹患している透析症例への透析中運動療法介入」という演題で口述発表させていただきました。今回初めての口述発表でしたが、医師や栄養士などの多職種の方々や経験豊富な先輩理学療法士の皆様から多くの意見をいただき大変勉強になりました。

特別講演では健康運動指導士の今井優先生の「健康運動指導士の立場から関わってきた医療機関での糖尿病運動療法の取り組み」のご講演を聴講でき、理学療法士とは違う立場からの生活習慣病予防のための取り組みについて学ぶことができました。また、他の口述発表では、他院における運動負荷の設定方法や運動内容についての発表を聞くことができ、自分の運動療法を見直すきっかけができました。

当院は透析患者が中心の病院であり、背景に糖尿病を罹患している患者が多いです。今回の学会で改めて糖尿病の考え方や基礎疾患に意識を向けることの大切さを実感しました。この貴重な経験を今後の業務に活かしていきたいと思います。

賛助会員名簿

【2019年４月９日現在】

－Ａ会員－

施設名	郵便番号	住所	TEL
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	926-8605	七尾市富岡町 94	0767-52-3211
金城大学	924-8511	白山市笠間町 1200	076-276-4400

－Ｂ会員－

特定医療法人社団　勝木会	923-8551	小松市八幡イ 12-7	0761-47-1212
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院	920-0848	金沢市京町 1-30	076-252-3281
専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー	921-8032	金沢市清川町 2-10	076-280-8151
医療法人社団慈豊会　久藤総合病院	922-0024	加賀市大聖寺永町イ 17	0761-73-3312
国際医療福祉専門学校七尾校	926-0816	七尾市藤橋町西部 1	0767-54-0177

－Ｃ会員－

医療法人社団　下崎整形外科医院	924-0802	白山市専福寺町 158-3	076-274-5000
セントラルメディカル株式会社	920-0024	金沢市西念 3-1-5	076-262-1111
医療法人社団映寿会 映寿会みらい病院	920-8201	金沢市鞍月東 1-9	076-237-8000
医療法人社団　安田内科病院	921-8047	金沢市大豆田本町ハ 62 番地	076-291-2911
医療法人社団　有川整形外科医院	924-0882	白山市八ツ矢町 232-2	076-275-7500
医療法人社団さくら会　森田病院	923-8507	小松市園町ホ 99-1	0761-21-1555
医療法人社団和楽仁　芳珠記念病院	923-1226	能美市緑が丘 11-71	0761-51-5551
医療法人社団博友会　金沢西病院	920-0025	金沢市駅西本町 6-15-41	076-233-1811
株式会社　エムテクニカ	920-0809	金沢市三池栄町 94	076-253-2241

－Ｃ会員（続き）－

施設名	郵便番号	住所	TEL
株式会社 トミキライフケア	920-0061	金沢市問屋町 2-74	076-237-0708
株式会社 済世館	920-0944	金沢市三口新町 2-2-25	076-231-7284
有限会社 丸山義肢製作所	920-1167	金沢市もりの里 2-32	076-222-1068
金沢医科大学病院	920-0293	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
株式会社 金沢義肢製作所	920-0935	金沢市石引 1-11-6	076-231-3328
独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院	920-8610	金沢市沖町ハ 15	076-252-2200
日本赤十字社 金沢赤十字病院	921-8162	金沢市三馬 2-251	076-242-8131
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院	921-8841	野々市市郷町 262-2	076-246-5600
市立輪島病院	928-8585	輪島市山岸町は１番１地	0768-22-2222
社会福祉法人徳充会　青山彩光苑	926-0831	七尾市青山町ろ部 22 番地	0767-57-3309
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院	920-8616	金沢市京町 20-3	076-251-6111
公益社団法人 石川県脳卒中リハビリテーション協会	921-8105	金沢市平和町 1-3-1　平和町庁舎３階	076-214-6650
珠洲市総合病院	927-1213	珠洲市野々江町ユ部 1-1	0768-82-1181
石川県リハビリテーションセンター	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-1	076-266-2860
社会福祉法人　恩賜財団　済生会 石川県済生会金沢病院	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-6	076-266-1060
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院	920-8621	金沢市小坂町中 83	076-252-2101
帝人在宅医療株式会社 金沢営業所	920-0024	金沢市西念 4-3-25　ＮＳビル	076-224-8686
医療法人社団博洋会 藤井脳神経外科病院	920-0362	金沢市古府 1-150	076-240-3555
医療法人社団瑞穂会　みずほ病院	929-0346	河北郡津幡町字潟端 422-1	076-255-3008

会員名簿の内容に変更ございませんか？

本会では毎年９月に会員名簿を発行し、会員ならびに賛助会員の皆様へ配布しております。

もし、名簿の内容に変更がございましたら、会員各自で名簿内容の修正をお願いします。
修正の方法は、日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】よりログインし、お手続きください。
ぜひ、ご協力をお願いします。

問い合わせ先
公益社団法人石川県理学療法士会事務局
〒920－8204　石川県金沢市戸水１丁目25
TEL : 076 － 254 － 1431
FAX : 076 － 254 － 1432
E-mail : info@ishikawa-pt.com

県士会ニュース

求人広告についてのお　し　ら　せ

－広告料金－

１／８	ページ	5,000 円
１／４	ページ	10,000 円
１／２	ページ	20,000 円

求人広告については、下記へお問い合わせ下さい。

〒924－8511　石川県白山市笠間町 1200
金城大学　医療健康学部　理学療法学科
山本　拓哉
TEL : 076 － 276 － 4400
FAX : 076 － 275 － 4316
E-mail : yamamoto@kinjo.ac.jp

－自由投稿募集－

県士会ニュースでは、みなさんの投稿による自由投稿枠を設けています。内容は問いません。
意見、質問、表紙に相応しい写真などなんでも OK です。
投稿希望の方は下記まで、まずご連絡ください。
投稿〆切は５・８・11・２の各月の１日となっております。沢山の投稿をお待ちしております。

〒924－8511　石川県白山市笠間町 1200
TEL : 076－276－4400　FAX : 076－275－4316　E-mail : yamamoto@kinjo.ac.jp
金城大学　医療健康学部　理学療法学科　山本　拓哉

編集後記

春の陽気が瞬く間に過ぎ去り、暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。平成時代が終わり、令和時代が始まりを迎えました。令和という言葉のように一人一人の理学療法士が今後の理学療法の発展のために協力し高め合っていける時代になっていくことを心より願っております。今後とも平成の勢いそのままに、令和という新時代を駆け抜けていきましょう。

発行：公益社団法人　石川県理学療法士会　編集：事務局ニュース編集部

野口　雅弘　山本　拓哉　石田　勝也　岩佐　和明　岩田　翔平　小川　雄右　神谷　晃央
木村亜沙子　澤田　康平　西田　好克　浦　遼司　坂下竜之助　本間　文子　北山　彩香

IPTA